

▼ 南北海道帆走協会定期総会

平成25年5月25日(土)
午後5時より平成25年度の定期総会。
午後6時より懇親会が
ホテル万惣で開催されます。

今年は年明けにオイル流出事故がありその経過報告もあると思います。また2年に一度の役員改選および泊地規定の一部変更と盛りだくさん。

すでに、皆さんの手元には案内が届いていると思いますので各クラブの理事の方は、会員の出欠を取りまとめ締め切り日まで(厳守)にご回答頂きますようお願い申し上げます。

▼ 2013年上・下架作業

先月21日に前期艇下架・後期艇上架作業が無事終了しました。前期艇の皆さんは週末ごとに天気が悪く下架の前日までペンキ塗りを行っておりました。

皆さんの愛艇がきれいに化粧を施し着水を完了するとまた新しい一年の始まり、今年は何をして遊ぼうか・・・?

後期艇の皆さんは、花見の時期桜には目もくれず整備に没頭されることと存じます。

なお、後期艇下架は5月12日となっております。前期下架されたクラブ会員の方も当日は清掃作業がありますのでお集まりください。

▼ 沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海
Vol 5

6月9日(木) 曇り時々晴れ

菱浦港→鳥取県境港

境公共マリーナへ向かう。マリーナの入口は浅いという。干潮にならないうちにと思い04:15に出港。

天気予報では南西の風が10メートル吹くというので気を引き締めて外洋に出たが、せいぜい8メートルだ。11:30マリーナに近づく。防波堤の上から入港進路を指示してくれる人がいる。情報通りかなり浅いがキールをすることもなくポンツーンに到着。4~5名の地元ヨットマンがワースと寄って来て着岸を手伝ってくれた。噂には聞いていたが親切を絵にかいたような雰囲気のマリーナである。地元美保湾ヨットクラブからお茶と缶コーヒー(どちらも段ボール一箱ずつ)の差し入れだ。私達も泡盛「海人」をお土産に差し上げるが挨拶もそこそこに中島氏に連れられ(拉致されるように)境港市中心街へ。「鬼太郎ロード」を見物し隠岐汽船ビルの風呂に入る。町中「ゲゲゲの鬼太郎」と「妖怪」だらけである。



夜、中島夫妻、新潟県柏崎市のヨット<ゆうのす>中村夫妻と海鮮料理屋で食事。脂肪ののったトロツとしたアジの刺身が旨い。

6月10日(金) 曇り後雨 境公共マリーナ

一日中、燃料と清水の補給、洗濯、食料と日用品の買い出しに追われる。夕方、中村氏とお互いこれから行く予定の港や海域の情報交換。<ゆうのす>は南下し九州を回る予定なのだ。

6月12日(日) 曇り後雨 境港→赤崎港

今日も凧だ。機走しながら針を流す。引いている飛行機に何かかかり、そのはずみでラインを切られる。Uターンして飛行機を回収。魚はどうでもいいが飛行機はもったいないのだ。その直後、別の仕掛けにブリがかかる。この前のものより小さめだ。函館で言うイナダというやつか。それでも今夜は新鮮な刺身にありつけると思うとニヤツとしてしまう。10:00連絡してあった杉本氏と赤崎港の沖でミーティングし入港。



6月13日(月) 晴れ 赤崎港→鳥取港

6:30出港。今日の海も静かだ。風が少し吹いているが、艇速は2ノットがやっとである。従ってセールは飾りのようなもの。機走する。11:30入港。福谷氏が出迎えてくれ「海友館」前に舫う。ここは一応ゲストバースになっているのだ。福谷氏の案内で鳥取砂丘と鳥取城の見物。砂漠のイメージを持っていたせいか少々期待外れだ。これは砂丘が悪いのではなく、かつてに思い込んでいた私が悪いのである。思いがけず良かったのは「仁風閣」。函館の公会堂にも似ているが、造りが凝っており東郷平八郎の大きな書も展示されているのだ。たっぷり時間をかけて見学する。船に戻ってコーヒーブレイク。あられが又脱走。岩壁をうろつ